

別添 審査表 1

(1) 共通審査基準 (国産稲わら利用拡大実証・調査)

応募者名：_____

審査項目	審査の観点	審査基準	評価
事業執行体制の妥当性	○ 事業実施主体の要件を満たしているか。 ○ 定款など組織運営に必要な規程は整備されているか。 ○ 事業を執行するために必要な体制（人員、事務処理体制、管理体制）を有しているか。 など	【5点満点】 5点：適切 3点：一部見直しが必要 0点：適切でない ※0点の場合は不採択	
事業執行方法の妥当性	○ 申請者の現状における課題が明確となっており、その課題解決に向けた取組内容となっているか。また、取組内容は事業の趣旨と合致しているか。 ○ 事業の執行にあたり、適正なスケジュールが設定されているか。 ○ 提出された事業実施計画書に記載漏れはないか。また、添付書類の欠落はないか。 など	【5点満点】 5点：適切 3点：一部見直しが必要 0点：適切でない ※0点の場合は不採択	
補助金管理体制の妥当性	○ 会計規程が整備されているか。 ○ 円滑な経理事務を行うことができる適正な執行体制を有しているか。 ○ 財務状況が健全な団体であるか。 など	【5点満点】 5点：適切 3点：一部見直しが必要 0点：適切でない ※0点の場合は不採択	
優先加算	○ 障害者が就労しているか。	就労している場合は、1点加算	
交付決定取消の原因となる行為の有無	○ 過去3か年に国からの交付決定取消を受けていないか。	該当する場合は、－8点	
他の補助事業での評価	○ 過去に実施した国の補助事業の評価において、成果目標が未達となっており、指導が続いている。	該当する場合は、－4点	
(1) 計		満点 16点	

(2) 事業別審査基準（国産稲わら利用拡大実証・調査）

審査項目	審査の観点	審査基準	評価
事業計画等の妥当性	① 効率的な事業が期待できるか。 ○ 検討や実証等を行う時期、稲わら等の供給先、内容等が明確に示されており、実現性が高いか。 ○ 現状の経営や地域の飼料需給状況を踏まえた課題や目指すべき方針が明確にされており、事業による効果が定量的・論理的に整理されているか。 ○ 実証の内容が、課題を踏まえ、目標を達成するために効果的な内容となっているか。	【6点満点】 6点：十分期待できる 4点：期待できる 2点：取組効果をもとめるため一部改善が必要 0点：事業効果が期待できない ※0点の場合は不採択	
	② 取組の推進体制	【3点満点】	
	ア 広域的な連携 ○ 実証において、稲わら等の生産地と離れた消費地での広域的な連携があるか。	2点：連携がある 0点：連携がない	
	イ 農業機械事業者との連携 ○ 機械の導入について農業機械事業者との連携があるか。	1点：連携がある 0点：連携がない	
	③ 成果の普及が期待できるか。 ア 実証効果の普及への取組 ○ 実証の効果を普及させる取組を複数行うこととしているか。 イ 実証効果の普及効果 ○ 実証内容は、国産稲わら等の生産利用の拡大に向けて、他の主体でも実施可能な内容で普及効果を期待できるか。	【4点満点】 1点：複数の取組の予定あり 0点：取組予定なし 3点：高い普及効果が期待できる 1点：一部普及効果が期待される 0点：期待できない ※0点の場合は不採択	
	④ 稲わら収集実績 ○ 現在、既に国産稲わらの収集・供給の実績があるか。	【2点満点】 2点：取組あり 1点：過去に取組	

		あり 0点：取組なし	
(2) 計		満点 15点	
(1) + (2) 計		満点 31点	

(3) 地方農政局の所見

- ※ 一部見直し・改善が必要との評価の場合は、どのような見直し等が必要か記載すること。
- ※ 一部見直し・改善が必要との評価を受けた事業実施主体候補者に対しては、採択通知に該当箇所の見直し等を条件とする旨、記載すること。